

スウェーデンハウスの住哲学

安心と快適に決して格差を設けない

「ワングレード・ハイスペック」。

創業以来、このフィロソフィーを貫くスウェーデンハウスは、

日本の住宅メーカーでは他に例のない存在です。

地震等の災害後の快適まで求めた強固な構造は、

災害対応力と相まって命を守ります。



スウェーデンハウス株式会社

本社 東京都世田谷区太子堂4丁目1番1号 〒154-0004 TEL 03-5430-7620 (代表)

www.swedenhouse.co.jp

SWEDEN HOUSE SHELTER

すべてのスウェーデンハウスは
シェルターであり、オアシスである。

Sweden
House®

予測できない災害大国・日本。

3大災害の実態を把握

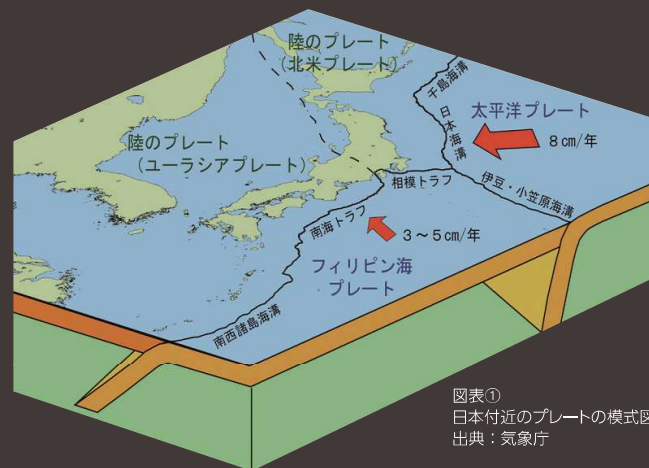
地震

01

日本は世界でも有数の地震国

地球の表面は、厚さ数10～200km程度の10数枚のプレートに覆われています。このプレートは毎年少しずつ動き続けており、プレート同士のぶつかりや重なりでかかった力が動き続けており、プレート同士のぶつかりや重なりでかかった力が解放されることで地表が揺れ、地震が発生します。これは「プレート境界型地震」と呼ばれ、陸側のプレートの下に海側のプレートが沈み込んでいる場所で起こるプレート境界型地震を「海溝型地震」と言います。海溝型地震では、津波が発生する可能性があります。

日本列島は、4枚のプレートに囲まれています。このため、日本は世界でも特に地震が発生しやすい国の一つで、世界で発生するマグニチュード6以上の地震の約20%が日本付近で発生しています。

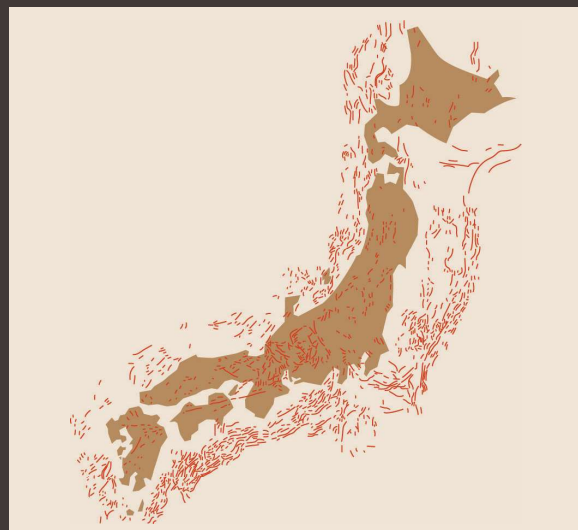


図表①
日本付近のプレートの模式図
出典：気象庁

地震は日本中どこでも起こりうる

地震が起こるのは、プレートの境目だけではなく、プレートの動きによってプレート内部には大きな力が加わり、地表近くの岩盤に割れ目が生じることにより地震が発生する場合があります。これを「内陸型地震」と言い、過去から繰り返し活動し、将来も地震を引き起こす可能性のある割れ目を「活断層」と言います。

活断層は日本の広い地域で確認されています（左図の赤線）。また、これまでに発見されていない活断層も多数あり、実際に近年の地震の約半分は未発見の活断層で発生しています（鳥取県西部地震〈2000年〉、新潟県中越地震〈2004年〉等）。このため、地震は日本中どこでも起こりうると言えます。



図表② 日本列島の活断層分布図 出典：地震調査研究推進本部

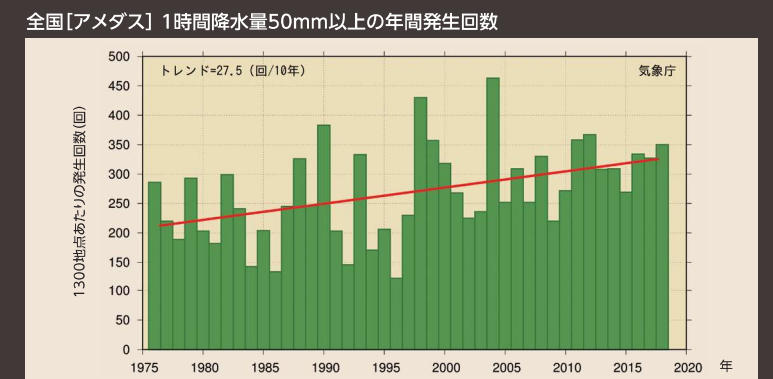
出典：「今改めて考える 身近に起こりうる地震と対策」東京海上日動火災保険株式会社

水災

02

全国各地で水災が増えています。

1時間あたりの降水量が50mm以上となる豪雨の発生回数が増加傾向にあり、ゲリラ豪雨で増水した雨水が排水処理能力を超えて溢れ出し、自宅が床下浸水する「都市型水害」が増えています。自宅が河川から離れた場所にあっても安心できません。

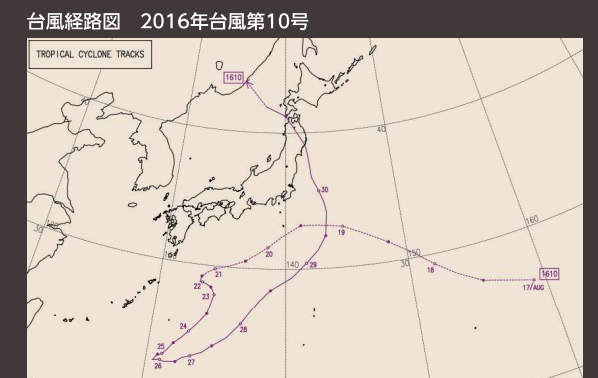


風災

03

台風が少なかった地域でも台風被害が増えています。

地球温暖化などの影響から、日本ではこれまで台風が少なかった地域でも多発し、大きな被害が増えています。また、竜巻などの風害も拡大しています。2016年の台風10号は過去に例を見ない進路を辿り、史上初となる東北の太平洋側に上陸しました（右図）。2018年の台風12号は東から西、西から南へと逆送り異例のコースを進みました。これまで台風が少なかった地域でも今後は損害を被る可能性があります。



出典：気象庁

命を守る家であるために。

スウェーデンハウス 6つのこだわり

ひとつひとつの優れた部材が集まって、スウェーデンハウスという他にはない性能の家が生まれます。
私たちが最も大切にしているのは、一棟一棟すべてのスウェーデンハウスが、建築物として
パーフェクトな性能を目指さなければならないということ。
それが家づくりのプロとしての役割であると考えています。

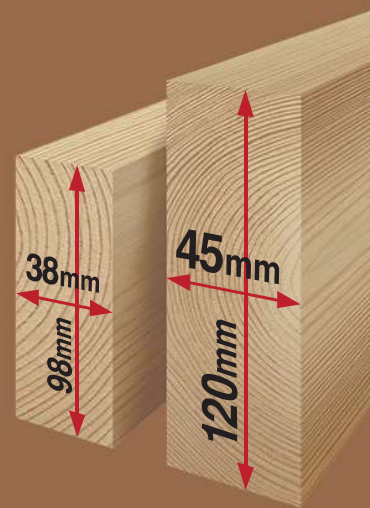
01

ツェー パイ フォー 2×4材の1.6倍の強さ

強さの基本は太く強い構造部材

2×4材の1.6倍の強さ。
超骨太で堅い杢材。

木質壁パネルの杢材は、一般的な2×4材の1.6倍もの断面積を持つ、高強度の構造材を採用。この断面積の違いは、積雪など上からの力に対する圧縮強度の強さを表し、2×4材と比較すると1.6倍もの強さになります。



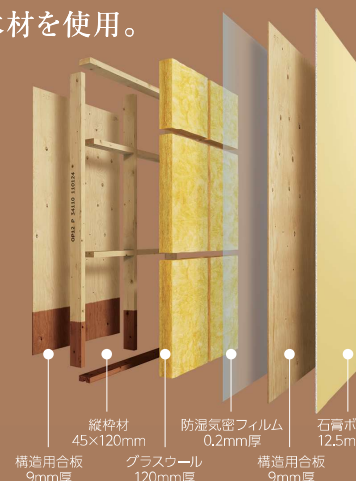
02

強固な木質壁パネル

構造の要、木質壁パネルを解剖

外壁パネルは2×4工法の約2倍、
2×6工法の約1.5倍の木材を使用。

外壁パネルは、両面に構造用合板を貼っているため、一般的な2×4工法とは大きく異なります。2×4工法では室内側に合板を貼らず石膏ボードのみとするのが主流の中、スウェーデンハウスでは外壁パネルの両面に構造用合板を貼り、2×4工法の約2倍、2×6工法の約1.5倍の木材を使用しています。



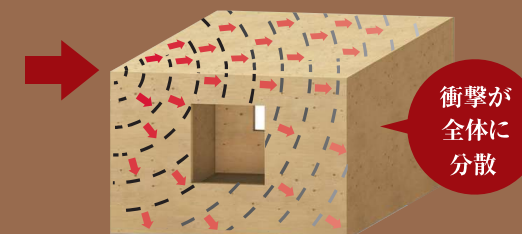
03

独自のモノボックス構造®

安定した施工を実現する木質パネル工法

面で支える高強度なモノボックス構造®が
建物の揺れを最小限に。

スウェーデンハウスの「モノボックス®構造」は、構造材と構造用合板で形成された「壁パネル」を強固に接続して一体化した「箱」状態になっているため、地震の揺れを「面」で受け止め、分散させ、高い強度を実現します。



04

家族を守る、優れた耐震性能

地震後の快適まで求めた耐震テクノロジー

実大のスウェーデンハウスで実験を行い
耐震性能の高さを証明。

2003年3月に実大建物による大規模な震動実験を実施しました。たった数週間の間に、数百年に一度と言われる大地震の揺れを多く受けても、構造上の有害な損傷を受けず、生活空間を守り抜きました。



05

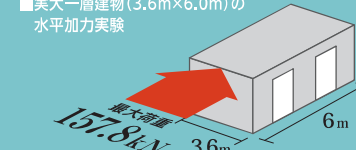
優れた耐風性能

一棟一棟の構造強度を支える知恵と技術

最大級の台風能耐える優れた耐風性能

スウェーデンハウスの実大一層建物の水平加力実験から得た耐力は157.8kN (16.1トン)。標準的な規模の建物が受圧した場合、過去最大級の台風である室戸台風 (最大瞬間風速63m/s) で想定される風圧力87.4kN (8.9トン)を上回る数値であることが確認されました。過去最大級の台風にも耐える優れた耐風性能、これがモノボックス®構造の強さです。

■実大一層建物(3.6m×6.0m)の
水平加力実験



3.0m×6.0m大のスウェーデンハウスは、157.8kNまで耐える耐風圧性能を持つことが確認されました。



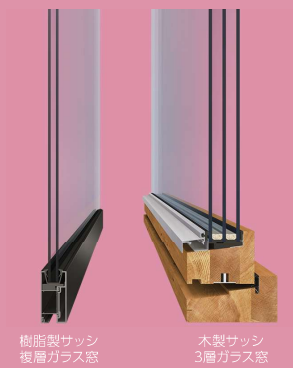
06

快適と安心を支える窓

風景を楽しむ窓は、家の性能を守る壁

住宅を超えた中高層ビルに並ぶ性能を実証。
潜水艦ハッチのように高度な気密性能。

窓の耐風圧試験を実施した結果、ビルの23階までに使用する窓の性能に達していることが実証されました。また、スウェーデンハウスの回転式窓(トップターン)は隙間を気密パッキンで塞いだエアタイト構造。これにより、気密性能の最高等級であるA-4をすべての窓で取得。高い気密性能がより高いレベルな断熱性を実現します。



災害から暮らしを守るため。

スウェーデンハウスの災害対応力

近年、大規模な地震や急激な気象変動に伴う災害が全国各地で頻発するようになってきました。
家には、災害から大切な家族と財産を守り抜く、強さが必要です。
また、災害発生後の暮らしを守るためには、様々な準備が重要となり、復旧への早急な対応が求められます。
スウェーデンハウスはグループ一丸となり、お客様の生活復旧までを迅速にお手伝いします。

スウェーデンハウスが復旧プロセスをご提案し、生活復旧までを ワンストップでサポートします。



01 発生・情報収集

災害予報段階より情報を収集し、災害対応の準備を行います。



02 訪問

本社保険担当のデータベースより補償内容を把握し、訪問します。



03 復旧計画のご提案

保険補償内容を踏まえた修理・復旧計画をご提案します。



04 保険

保険代理店として保険金請求に必要な書類や手続きをサポートします。



05 修理・復旧

スウェーデンハウスの関係部門が一丸となり早期復旧を目指します。



早期復旧の要となる保険手続きをサポート

スウェーデンハウスが保険代理店として保険を扱う理由はひとつ。
保険で災害からお客様の暮らしを守るため。

災害の混乱の中、たくさんの書類をお客様ご自身が整え、
火災保険会社との手続きをすることは大変な作業となります。
スウェーデンハウスでは各部門が一体となり、
保険金請求から修理・復旧までを迅速にサポートします。

